

エコ・ファーストの約束



積水ハウスは2008年6月に環境大臣と「温暖化防止」「生態系保全」「資源循環」に関する三つの約束(エコ・ファーストの約束)を交わして「エコ・ファースト企業」認定を受け、その約束を果たすべく、環境取り組みを実践してきました。2012年および2016年には、社会情勢の変化や取り組みの進捗を反映し、三つの約束の大きな枠組みを保持しながら「エコ・ファーストの約束」を更新し、取り組みを深化させています。

1. 家庭部門及び事業活動に伴うCO₂排出量削減を積極的に推進します

<温暖化防止>

約束項目^{*}

- 2030年までに国の目標(2013年比CO₂削減39.3%)に相当する「ストックまで含む家庭部門の1次エネルギー消費の27%以上削減」を目指します。
- グループ全体の事業活動からのCO₂排出量を一般社団法人 プレハブ建築協会が定めた目標値(2020年に2010年度比10%削減)を上回るよう、省エネエアコンやエコカー、LEDを積極的に導入します。

2018年度^{*1}の主な進捗
戸建住宅事業でのZEH^{*2}比率

79%

※1 2018年4月1日~2019年3月31日
※2 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス



「グリーンファーストゼロ」の拡販

2. 生態系ネットワークの復活を積極的に推進します

<生態系保全>

自然資本を持続的に利用して、豊かで心地よい暮らしを実現できる社会を目指します。

約束項目^{*}

- 地域に根差した在来種中心の植樹計画(「5本の樹」計画)を住宅の庭づくりやまちづくりを通して積極的に推進し、「5本の樹」計画に基づいた事業開始から20年となる2020年には累積植栽本数1500万本を目指します。
- 違法伐採や自然生態系の喪失を防ぐとともに産出地域経済の自立に配慮し、サプライヤーやNGOと協働して「フェアウッド」の導入を推進します。

2018年度の主な進捗

累積植栽本数

1,502万本

(2020年目標達成)



「5本の樹」計画の推進

3. 資源循環の取り組みを徹底的に推進します

<資源循環>

提案型リノベーションや、まち全体・コミュニティを含めた再生を推進し、社会資産の価値向上に努めます。

約束項目^{*}

- 資源循環センターを活用した新たな回収システムを整備し、グループ全体のゼロエミッションを加速します。
- 生産・施工・アフターメンテナンス時のゼロエミッション(埋め立てゼロ、熱回収を伴わない焼却ゼロ)を継続するとともにマテリアルリサイクル率90%を目指します。

2018年度の主な進捗
生産・施工・アフターメンテナンス
時のマテリアルリサイクル率

84.5%



資源循環センターでの分別作業

※ 2016年に更新した「エコ・ファーストの約束」の抜粋です。全文はWEBサイトをご覧ください。 <https://www.sekisuihouse.co.jp/ecofirst/>

Topics

「積水ハウス エコ・ファーストパーク」公開3周年を記念したシンポジウムを開催

積水ハウスが取り組み続けてきた環境活動の歴史の中で象徴的な実証実験住宅3棟と「5本の樹」計画の庭「生きものの庭」、施工現場で27分別した廃棄物を最大80分別してゼロエミッションを実現する「資源の泉」による一般公開施設「積水ハウス エコ・ファーストパーク」を当社関東工場の隣接地(茨城県古河市)で運営しています。

2018年12月、公開3周年を記念したシンポジウムを近接する「関東・住まいの夢工場」で開催。環境省の森本事務次官によるご挨拶の後、涌井取締役が「STOP温暖化!地球環境のために住まいができること」と題して基調講演。「いま温暖化を止めなくては間に合わない。そのためには一人ひとりが自分ごととしてできることに取り組むことが重要である」などとスピーチしました。

※「積水ハウス エコ・ファーストパーク」の見学お申込みはこちら。 <https://www.sekisuihouse.co.jp/efp/>



環境省の森本事務次官